宮崎大学
卒後臨床研修センター通信
Vol.22
2016年8月発行
発行：卒後臨床研修センター

卒後臨床研修センター長就任挨拶

4月より卒後臨床研修センター長を拝命した小松弘幸と申します。2006年より同センター専任として10年間奔走しておりましたが、この度、初代センター長の池ノ上先生→岡山先生→片岡先生→そして4代目としてバトンを受け取りました。私の財産と拠り所は、約400名の研修医の皆さんとそれぞれの研修医物語を共に歩ませてもらった「経験」です。今後も大学・協力型病院の先生方と研修医の成長・飛躍を後押しできればと思います。よろしくお願い申し上げます。

宮崎大学マッチング説明会&県内7基幹型臨床研修病院合同説明会を開催

6月10日(金)、宮崎大学医学部生を対象とした「宮崎大学マッチング説明会&県内7基幹型臨床研修病院合同説明会」を開催しました。卒後臨床研修センター小松センター長からマッチング概要の説明後、県内にある7つの基幹型臨床研修病院(県立宮崎/日南/延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学)の研修担当医師が研修プレゼンテーションを行い、87名の参加者に各プログラムの特徴やポイントをアピールしました。最後に宮崎大学各診療科長のメッセージ動画が上映され、場内に笑い声がこぼれました。説明会後、フリートーク形式の懇親会も開催され、各研修担当者と学生との和やかな交流タイムとなりました。

Miyazaki Tiger Caveコース 研修医頑張っています!

今年度より開始した“Miyazaki Tiger Caveコース”で2名の研修医(島津志帆子先生、後庵篤先生)が頑張っています。このコースは、大学病院を中心にある程度の重症度を有する急性期疾患全般への初期対応と全身疾患管理を濃密に研修できる「自主デザイン研修プログラム」選択者への「内部特別コース」です。研修の5つの特徴として、①研修に専念できる環境(大学病院宿舎の無償提供)、②AHA-ACLS等の講習会受講料は全て大学負担、③大学病院在籍中は通年的に救命救急センターの時間外救急当直を担当、④内科・外科等の研修分野別に“PLUS ONE”到達目標が別途設定、⑤長期リフレッシュ休暇(約2週間程度)、があります。

表にはこの2名が4月以降に受けた講習会の内容です。忙しい救急研修中の週末に既にこれだけの講習会を経験しています。今後も内科・外科と研修が続きますが、肉体的・精神的体調管理に十分留意しながら、宮崎版“虎の穴”で実力を付けていただければと思います。

開始日	参加の内容	講習会名
2016/4/ 9	アシスタント	第158回 AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2010)
2016/4/10	受講者・アシスタント	第159回 AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2010)
2016/4/30	アシスタント	第160回 AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2010)
2016/6/ 4	受講者	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
2016/6/11	受講者	第8回 宮崎MCLS標準コース
2016/6/18	アシスタント	第161回 AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2010)
2016/6/18	アシスタント	第162回 AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2010)
2016/6/25	受講者	AHA コアインストラクターコース
2016/6/25	受講者	AHA BLSインストラクターコース
2016/7/ 2	受講者	第30回 AHA ACLSプロバイダーコース(G2010) (兼ICLS修了)
2016/7/ 9	受講者	第3回 大分PEECコース

医局紹介　～消化器内科学講座～

初めまして、消化器内科学講座です。2016年4月に開設されたばかりの新規講座です。消化器内科領域の中でも“胆膵”をメインに診療を行っています。

我々の診療は外来・病棟・検査からなりますが、やはり花形は各種の内視鏡を用いた検査・処置になります。診断的EUS（超音波内視鏡検査）や病理学的診断目的のEUS-FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引術）、診断・治療のためのERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）、EUS-FNA関連手技の超音波内視鏡ガイド下膿瘍ドレナージ術や瘻孔形成術などを行っています。

メジャー科の中のややマイナー分野ではありますが、消化器救急の一翼を担うERCPや、県下において大学でしか見れない・やれない・（やらない?）手技など一見の価値があります。ピンポイントで胆膵内科医になりたい方、将来的に消化器内科や外科を考えている方、または救急や一般内科を考えている方、その他もろもろの方々に是非是非１度は見学・研修してもらいたいです。

興味を持たれたらお気軽に連絡を！

医局：2E13
Tel：0985-85-9797
E-mail：
y-kubota@med.miyazaki-u.ac.jp
（久保田）

そつごのそのご　第1回　医師として母として

宮崎大学医学部附属病院　小児科　谷口　英里奈先生(H22年度修了)

私は、東京都出身で、2003年宮崎大学入学、2009年より宮崎大学で臨床研修、2011年同小児科に入局し今に至ります。大学時代に2人、医者になってから3人出産し、5人きょうだいの母です。子育てをする中で、子どもの素晴らしさに目覚め、小児科医になりたい！と強く思うようになりました。ドタバタですが、何とかやれているのは、周囲の方々のおかげです。近くに住んでくれている母の協力で、我が家の子ども達は美味しいご飯をいただけています。神経内科医の夫も子ども達によく関わってくれて、子どもと遊ぶのは私より上手です。医局の先生方も、さすが小児科医なので子育てにご理解があり、おかげさまでこうして働くことができています。子育てと仕事とどちらも精一杯頑張っていきたいです。仕事を楽しそうに頑張る母をみて、子ども達に何か感じてもらえたらなと思います。小学6年の長女は、医者を目指しているそうです。うれしいような、責任重大なような複雑な心境です。5人を育てるため、経済的な意味でもお仕事しっかり頑張りたいです。人が優しく、食べ物が美味しく、自然豊かで、広い家に住める(家賃が安い)、宮崎県という環境に感謝です。女性医師がそれぞれのライフスタイルを充実して過ごしながら、仕事を続けやすいシステムがますます発展することを願っています。

新研修医の声

Voice
1年次医科
石田 翔太郎
（写真右から２番目）

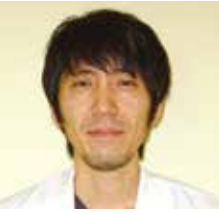
京都から参りました、研修医1年目の石田翔太郎と申します。サーフィンのためだけに移住してきたつもりでしたが、熱心な指導医の先生方や、すばらしい同期、卒後センターの方々や他にも色々なサポートをしてくださる方がいらっしゃるおかげで、宮崎大学での研修が目的で移住してきたのではないかと思えるほどに充実した研修医生活を送っています。今後も趣味と仕事の最良のバランスを自問自答しながらどちらも日々精進していきたいと思っておりますので、ご指導の程宜しくお願いします。

Voice
2年次医科
田中 友梨
（写真左）

研修医になってから、4つの病院で合わせて8つの診療科をローテートさせていただきました。それぞれの科を実際に回ってみて、苦手意識を持っていた科が意外と楽しかったり、先生方はさらっとこなされているけど自分でやってみるとすごく難しいことが分かったり、新しい発見がたくさんありました。また、どの科に行っても、丁寧にご指導くださる先生方との出会い、貴重な症例との出会いがありました。日々のこうした何気ない発見や出会いを大切にして、感謝の気持ちを忘れず、もっともっといろいろな経験を積み重ねていきたいと思います。

センター教員の先生の紹介

森　浩貴先生



お疲れ様です。卒後スタッフ・消化器内分泌小児外科の森浩貴です。宮崎県出身です。
私は現在卒後4年目であり卒後スタッフの中でも一番学年的に下（他は先輩方ばかり）でありますが、学生の皆さんや研修医の皆さんと学年が近いということをメリット（！？）と考え、頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。

研修医のみなさんは外科研修の際には連絡を頂ければいろいろ調整しますので気軽に連絡をしてください。(^^)

黒木　建吾先生

6月より新しく卒後臨床研修センターに配属となりました。研修医の皆さんは、各科へのローテーションで忙しい日々を過ごしていることと思います。1年目の先生は徐々に仕事に慣れ始めた半面、まだまだ不安を感じることも多いと思います。2年目の先生は今後の進路のことで悩まれている方も多いことと思います。そんな研修医の皆さんの力になれるように頑張りますので、気軽に声をかけてくれると嬉しいです。よろしくお願いします。

宮﨑　康幸先生

はじめまして。今年度から宮崎大学外科学講座に入局し、6月から卒後臨床研修センターの一員となりました。佐賀県唐津市出身で佐賀大学を卒業後、5年間沖縄で初期研修・外科後期研修をして参りました。沖縄県は初期研修に特に力を入れており、そこでの経験をここ宮崎大学でも活かしていければと思います。研修医の先生達と一緒に、楽しく有意義な研修プランを作っていけるよう頑張ります。よろしくお願いします。

レジナビフェア2016 in大阪&東京

今年も「レジナビフェア2016 in大阪」が7月3日(日)インテックス大阪、「レジナビフェア2016 in東京」が7月17日(日)東京ビッグサイトで開催され、本院も宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに「All Miyazakiブース」に出展し、ブースを訪れた学生さんに宮崎大学研修プログラムについて説明とアピールを行いました。大阪会場は65名、東京会場は57名と共に来場者は過去最多となりました。

宮崎県専門研修合同説明会

6月25日(土)16時より、宮崎観光ホテルにて「宮崎県専門研修合同説明会&交流会」が開催されました。

主催は、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会、宮崎県地域医療支援機構、宮崎大学医学部(医療人育成支援センター/卒後臨床研修センター)、宮崎県医師会の合同開催でまさに『All Miyazaki』体制の説明会でした。

第1部の説明会は、医師会理事の金丸吉昌先生の開会挨拶後、1)新専門医制度の概要説明、2)基本19領域のショートプレゼンテーション、3)各領域ブースでの個別相談の3部構成で行われました。第2部では立食パーティー式の交流会が行われ、鮫島浩宮崎大学医学部附属病院長のご挨拶の後、乾杯・食事歓談へと移り、途中、新臨床研修制度を経て現在第一線で専門医としてご活躍している4名の先生方の体験談をインタビュー形式で赤裸々にお話していただき、会場は大いに盛り上がりました。

行事案内

8月	15日(月)	第1回　医師臨床研修マッチング面接
	18日(木)	第1回　歯科医師臨床研修マッチング面接
	29日(月)	第2回　医師臨床研修マッチング面接
9月	1日(木)	第2回　歯科医師臨床研修マッチング面接
	8日(木)	第3回　歯科医師臨床研修マッチング面接
10月	10日(月・祝)	eレジフェア2016福岡
	20日(木)	医師臨床研修マッチング決定
	25日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
11月	26日(土)	ローテート説明会
12月	17日(土)・18日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)

宮崎大学医学部 学生支援課 医療人支援係(卒後臨床研修担当)
(内線：2385/2386)
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 ／ FAX:0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp